

『近藤篤山先生旧邸』 高校生ガイド記念企画

令和7年=昭和100年！！

昭和レトロポスター展 同時開催！！

近藤篤山先生邸奥座敷内



～小松高等学校・文理探究コースの地域活動紹介～

- ① 令和5年、国の重要無形民俗文化財に登録された小松町の産品「石鎚黒茶」を地域の誇るべき文化としてより広く伝えるため、保存会様と企業様、地域団体様とをおつなぎするコーディネーターとして活動しています。今年度は『石鎚黒茶コーヒー』の普及・販売に努めています。
- ② 愛媛県唯一の公開武家屋敷であり、小松地域の教育力を高めた儒学者・近藤篤山先生が40年間住まわれた住居跡『近藤篤山先生旧邸』を小松地域が誇るべき文化施設として、その認知度を高めるため、本年度より高校生ガイドの活動を行っています。

※令和7年が昭和100年であることにちなみ、昭和レトロをテーマとした展示もお楽しみください。



「石鎚黒茶の製造技術」の国重要無形民俗文化財指定(令和5年3月22日)は西条市では初めて、愛媛県内では42年ぶり2例目である。石鎚黒茶は、江戸時代から大正時代にかけて小松町、石鎚山麓周辺地域で作られていた発酵茶で、昭和に入って生産量が激減し消滅の危機にも立たされたが、保存団体「さつき会」様のご尽力により復活した。日本で唯一の2段階製法の後醗酵茶である。

